

御嵩都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(概要版)

都市計画の目標

【都市づくりの基本理念】

つながる・あふれる・輝くまち～みたけ・かねやま～

【都市づくりの基本的方向性】

- (1) 快適な居住環境づくり
- (2) 人・環境に優しいネットワークづくり
- (3) 魅力的な産業基盤づくり
- (4) 安全・安心な都市環境づくり
- (5) 地域の魅力・個性づくり
- (6) 可児都市計画区域と連携したまちづくり

区域区分の有無

本区域においては、市街地の拡大の可能性が低く、区域区分によらなくとも、特定用途制限地域の検討や農業施策との整合を図ることで、無秩序な市街化を防止し、良好な環境を有する市街地を形成することが可能なことから、区域区分を定めません。

主要な都市計画の決定の方針

土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針

住居系	<ul style="list-style-type: none">・ 既成市街地では、狭い道路の沿道に住宅が密集している地域がありますが、今後、建て替え時の誘導等により、良好な居住空間の構築を検討します。・ (都)井尻伏見線については、住民のニーズに合わせた住宅・商業機能の集積を目指します。既存の住宅団地では、一体的な整備により良好な居住環境が構築されていることから、今後とも低層住宅を中心とした良好な居住環境の地域として土地利用を維持します。
商業系	<ul style="list-style-type: none">・ (都)井尻伏見線沿道では、用途地域の変更も検討しつつ、商業空間の形成を目指すとともに、御嵩橋周辺では、(都)一般国道 21 号御嵩バイパスと連携した連続性のある商業空間の形成を目指します。・ 本区域西端に立地している大型商業施設周辺は、(都)一般国道 21 号御嵩バイパスなどの利便性を活かし、周辺環境との調和を図りながら、広域の住民が利用することができる商業系の土地利用を検討します。
工業系	<ul style="list-style-type: none">・ 既存の工業団地では、雇用創出や産業の独自性の観点から、周辺の住宅や店舗と調和した産業機能の維持に努めます。

都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針

交通体系	<ul style="list-style-type: none">・ 幹線道路へのアクセスを重視する整備を進めるとともに、(都)一般国道 21 号御嵩バイパスの 4 車線化を促進することで、生活に密着した道路を通過する車両を減少させ、居住環境を守る道路網の構築を進めます。・ 地域経済を支える商業、工業、観光機能などを広域的な交通体系と結び、周辺都市と連携します。・ 交通量の多い幹線道路や、通学路となっている道路などでは、安全性の確保を最重要課題とし、安全な歩行空間を創出します。・ 鉄道については、名鉄広見線を今後とも住民の通勤・通学、観光客の移動手段としての役割を担う重要な機能として位置付け、鉄道駅周辺の整備を行うことにより利便性の向上を図ります。・ バスが通勤・通学や日常生活における重要な交通手段であることから、バス路線となっている道路の利便性の向上を図ります。・ (都)一般国道 21 号御嵩バイパスの 4 車線化を促進し、国道や県道のラッシュ時における渋滞緩和を図り、環境負荷の軽減に努めます。
下水道	<ul style="list-style-type: none">・ 可児川は、木曾川流域の上流部にあたり、水質の悪化が下流域に多大な影響を与えるため、流域の下水道整備を通じて水質の保全に積極的に取り組みます。・ 生活環境の充実のため、公共下水道整備計画区域の見直しを含めて、効率的に整備を進め、普及率向上に努めます。
河川	<ul style="list-style-type: none">・ 流域全体の保水機能を維持・向上させるため、開発者に対しては、雨水流出抑制などの対策を実施する指導を図ります。・ 可児川、木曾川については、安全で親しみの持てる水辺空間の創出を検討します。

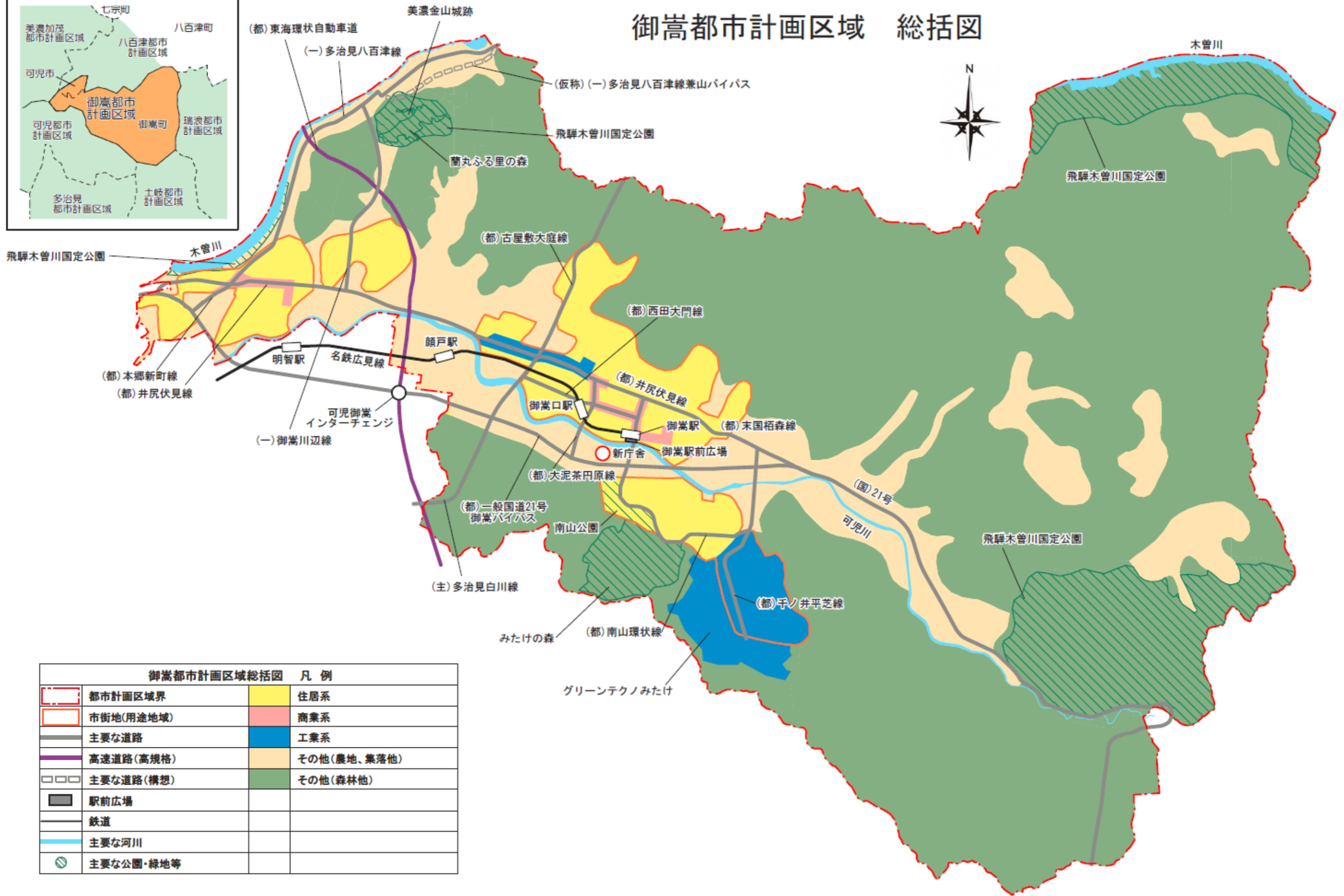
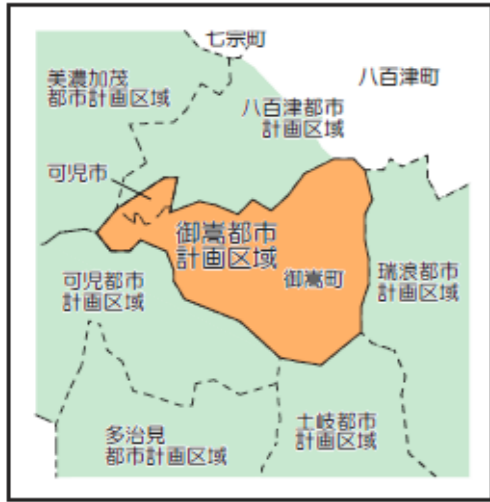
市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針

- ・ 本区域の玄関口の一つである名鉄御嵩駅周辺の未利用地を、駅に近接する生活利便性の高い住宅地として活用するとともに、既成市街地と(都)一般国道 21 号御嵩バイパスを結ぶ地区として魅力的な駅前空間を創生します。

自然的環境の整備又は保全に関する都市計画の決定の方針

- ・ 市街地や集落周辺の山林、農地、河川を住民が親しむことのできる自然環境として保全し、うるおいや楽しさを感じられる要素として活用します。
- ・ 兼山地区では、緑地の保全を図り、自然との調和を行い、良好な景観の維持・創出を進めます。美濃金山城跡は、現状を保存しながら、観光資源として整備します。
- ・ 公園は、住民の憩いの場、交流の場であり、災害時には、避難場所や救援拠点になるなどその用途は幅広いことから、今後、計画的な維持管理を行います。

御嵩都市計画区域 総括図



御嵩都市計画区域総括図 凡例	
	都市計画区域界
	市街地(用途地域)
	主要な道路
	高速道路(高規格)
	主要な道路(構想)
	駅前広場
	鉄道
	主要な河川
	主要な公園・緑地等
	住居系
	商業系
	工業系
	その他(農地、集落他)
	その他(森林他)